

令和  
6年度

# 治療と仕事の両立支援 シンポジウム・セミナー

参加  
無料

## テーマ

すべての働く方、会社が、  
「自分事・自分たち事」として取り組む両立支援

### シンポジウム

シンポジウムでは、様式（「勤務情報提供書」や「主治医意見書」等）を介した治療と仕事の両立支援の進め方や実践方法について、労働者（患者）、企業、医療機関、両立支援コーディネーターの各視点からお伝えします。

「治療と仕事の両立支援とは？  
動き始めるのは会社自身、そして、労働者自身。」

2024年11月19日（火）13:30・15:45



場所

東京商工会議所5階

オンライン配信あり / 終了後はアーカイブ配信予定

定員

250名

(定員になり次第締切)

参加方法

参加を希望される方は、申込フォームでお申し込みください  
申込フォーム URL : <https://forms.office.com/r/bc570UrbPv>



### オンラインセミナー

オンラインセミナーでは、1回目は各企業から具体的な取組内容や取組によるメリット、2回目は治療を受けられた方の実体験をお伝えしてもらい、両立支援の重要性や方法について理解を深めていただきます。

■ 「治療と仕事の両立支援とは？ 各業種の中小企業の取組から学ぶ」

2024年12月12日（木）（予定）

■ 「治療と仕事の両立支援とは？

労働者の経験・エピソードから学ぶ両立支援の進め方」

2025年1月中旬（予定）

参加方法

申し込みは不要です。参加を希望される方は、当日にポータルサイトよりご視聴ください。  
終了後はアーカイブ配信予定。

サイト URL : <https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/symposium/>



参加方法など詳細はこちら

ポータルサイト「治療と仕事の両立支援ナビ」

お問い合わせ

「治療と職業生活の両立支援広報事業」事務局  
E-mail: [info@chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp](mailto:info@chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp)

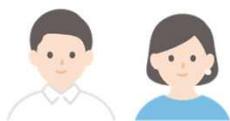
# 治療と仕事の両立とは

病気を抱えながらも、働く意欲や能力のある労働者が、仕事を理由として治療機会を逃すことなく、また、治療の必要性を理由として職業生活の継続を妨げられることなく、適切な治療を受けながら、生き生きと就労を続けられることです。



## 治療と仕事の両立支援に取り組むことの意義

### ◆労働者にとっての意義



疾病にかかったとしても、本人が希望する場合は、疾病を増悪させることがないように、適切な治療を受けながら、仕事を続けられる可能性が高まります。

### ◆事業者にとっての意義



労働者の健康確保とともに、大切な人材を失わずにすみ、労働者のモチベーション向上により人材の定着や生産性向上につながります。「健康経営」や社会的責任（CSR）の取組そのものであり、多様な人材の活用による事業の活性化が期待されます。

### ◆医療関係者にとっての意義



仕事を理由とする治療の中断や、仕事の過度な負荷による疾病の増悪を防ぐことで、疾病の治療を効果的に進めることが可能となります。

### ◆社会にとっての意義



疾病を抱える労働者の方々も、それぞれの状況に応じた就業の機会を得ることが可能となり、全ての人が生きがい、働きがいを持って各々活躍できる社会の実現に寄与することが期待されます。

詳しくはこちら



#### ▶事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン

治療が必要な疾病を抱える労働者が、業務によって疾病を増悪させることなく、適切な治療を受けながら就労を続けられるよう、事業場における両立支援のための取組事項をまとめたものです。

治療と仕事の両立支援ナビからダウンロードできます



#### ▶治療と仕事の両立支援ナビ

好事例や活用可能な制度・助成等、治療と仕事の両立支援に関する総合的な情報を発信しています。

